

くしろ市議会だより

お伝え
します

市議会
のこと

平成 26年2月1日
2014 2 FEB.
No.37

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)
TEL 31-4581 FAX 23-7679
✉ メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp
URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

(次回の2月定例会は、**2月28日(金)午前10時**
から開会の予定です。)



(文責・森豊石炭対策特別副委員長)

台湾では、釧路産の商品を扱う物産展や、タンチョウのピックとキカがいる台北動物園を視察したほか、復興航空本社や関係機関等との懇談で、釧路への就航路線の週2便化に向けた要望をし、好感触を受けるなど、大変有意義な訪問となりました。

11月10日から16日までの日程で、政務活動の一環として9名の議員がベトナムを、7名の議員が台湾を、市長とともに訪問しました。
ベトナムでは、釧路コールドマインで行われている「産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業」の評価確認と事業継続に向けた支援要請を行い、研修事業に技術者を派遣したナウマウ炭鉱のトオアン社長や、国営企業ピナコミンのチュアン総裁からは、「生産の増加や事故の減少など、研修の成果を高く評価している。今後はさらなる安全操業が求められ、ベトナムの石炭産業のためにも本事業の継続を望んでいる。」とお話があり、研修事業のさらなる重要性を受け止めてまいりました。

ベトナム・台湾訪問

議会日程

- 10/22 議会広報特別委員会
- 11/27 石炭対策特別委員会
- 11/28 議会運営委員会

12月定例会 (会期10日間)

- 12/4 市政報告
提案説明
質疑・一般質問
- 12/5、6 質疑・一般質問
- 12/9～12 常任委員会審査
- 12/12 議会広報特別委員会
- 12/13 常任委員会採決
委員長報告
本会議採決

3常任委員会が行政視察を実施 ～先進事例などを調査～

総務文教・経済建設・民生福祉の各常任委員会所属議員が、10月から11月にかけて、今後のまちづくりに向けての参考とし、議会議論と委員会活動を一層充実させるために、各地の優れた先進的な取り組みなどを調査してきました。各常任委員会の報告概要を、次のとおりお知らせします。

民生福祉常任委員会

11月5日から8日までの4日間の日程により視察し、明石市では、障がい者就労支援の取り組みとして市役所内に設置した福祉コンビニと福祉作業所の状況、小野市では、生活保護受給者等の自立支援のため、地域で見守ることを最たる視点として制定された小野市福祉給付制度適正化条例に関して、県立広島病院では、がん患者の身体的・精神的苦痛を和らげる緩和ケアの提供と、その推進を行っている緩和ケア支援センターをそれぞれ調査してきました。

【参加議員】秋田慎一 大島 毅 山口光信
黒木 満 松橋尚文 戸田 悟 土岐政人
石川明美 渡辺慶蔵



経済建設常任委員会

10月8日から11日までの4日間の日程で視察を行い、産業振興に関する施策として、福岡県行橋市では、地場産品発掘・ブランド化プロジェクトである菜種のブランド化や水産業の振興に関する取り組みについて、久留米市では、ラーメン、やきとり、うどんなどB級グルメによるまちおこしの取り組みを、また港湾整備に関連して博多港では、国際ターミナル港である同港の港湾施設や、周辺地域の施設整備の状況をそれぞれ調査してきました。

【参加議員】畑中優周 松尾和仁 三木 均
続木敏博 村上和繁 松永征明 大澤恵介
酒巻勝美 (上口智也議員は都合のため不参加)



総務文教常任委員会

11月5日から8日までの4日間の日程で視察し、愛知県日進市立図書館及び東京都北区中央図書館では、建設に至るまでの経緯や附帯設備に関する事、利用状況やサービスなど運営に関する事、静岡県地震防災センターでは、施設の役割や独自対策に関する事、静岡市役所では東海地震による津波対策として県や市が行っている取り組みに関する事について、それぞれ説明を受け質疑応答し、調査してきました。

【参加議員】菅野 猛 金安潤子 高橋一彦
草島守之 森 豊 鶴間秀典 月田光明
梅津則行 宮田 団 佐藤勝秋



党派略称説明

- 自民ク 自民クラブ
- 市民連 市民連合議員団
- 公 明 公明党議員団
- 共産党 日本共産党議員団
- 自新ク 自由新政クラブ
- 市政ク 市政クラブ
- 政進会 政進会

12月6日(金)

今定例会では、12月4日から3日間にわたり、14人の議員により質疑・一般質問が行われました。今回も質問者全員が一問一答方式を選択しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

12月定例会の概要

釧路市議会25年第6回12月定例会は12月4日(水)招集され、12月13日(金)までの日程で開催しました。

今定例会には、市長から25年度釧路市一般会計補正予算など20件の議案が提出され、本会議及び各常任委員会において審議・議決しました。

本会議における一般質問では14人の議員が登壇し、地震に伴う津波や台風に関する防災対策などについて質問があり、議論が交わされました。(2・3面参照)

12月4日(水)

公明 松橋 尚文議員 1

問 鶴野・星が浦地域は地盤が悪く排水能力に欠け、雨による道路の通行止めが頻発している。また中鶴野地区では台風18号により冠水等の被害が発生しており、雨水対策として星が浦川の早急な改修が必要と考えるが見解を聞きたい。

答 当該地区における抜本的な浸水対策には、下水道の雨水整備と星が浦川の改修が課題であると認識している。同河川は民有地で地権者との協議が隘路となっていたが、本年6月に協議が再開できたので、今後も継続的に進めていきたい。

自新 森 豊議員 2

問 台湾との国際定期便2便化に向けた要請活動のため、市長と議員訪問団で現地の航空会社などを訪問し、好感触を得たと感じたが、意見交換で話題となった「同一季節内での2便化」という視点から検討していくべきではないか。

答 今回の訪問では、2便化に向けての具体的な回答がなかったため、さらに効果ある行動を展開していきたい。また、同一季節内での2便化が実現すると、休暇を使った台湾旅行も身近なものとなり、具体的な検討を早期にしてみたい。

市政 土岐 政人議員 3

問 避難困難地域である大楽毛南地区に、今後、避難場所や避難施設として、高台や避難タワーを構築すべきと考えるかどうか。

答 先般、国において南海トラフ巨大地震対策特別措置法などが制定されたが、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の再評価により、今後の対応が行われるとされている。市民の命を守るための抜本的対策については、国の動向を注視しながら、新たな津波対策特別措置法が制定された場合に、具体的な作業が開始できるような準備を進めていきたい。

政進会 鶴間 秀典議員 4

問 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒湖温泉旅館組合、独自財源研究会の3者から提出された入湯税の超過課税に関する要望書を受けての市の考えと、検討の時期、また課題として想定していることを聞きたい。

答 阿寒湖温泉地区が世界一級の観光地となることを目的に、関係者が一致しての要望であることを重く受け止めている。また、検討は早急に進めていきたいが、超過加算の対象地域や料金体系、実施事業等だけでなく理解を得られるかが課題と考えている。

共産党 村上 和繁議員 5

問 灯油価格が高騰しており、ぬくもり助成金制度を復活させるべきではないか。また、25年度に限った措置であっても、福祉灯油あるいはそれに代わる施策を行うべきと考えるかどうか。

答 ぬくもり助成金は、22年度の財政健全化プラン策定時に聖域のない見直しを行い廃止することとしたが、新たな取り組みとして、高齢者に対する灯油の調達給油サービスや、単身高齢者を対象とした除雪の拡充などを実施しており、議会の議論を経て理解を得たものと認識している。

12月5日(木)

自民 三木 均議員 6

問 釧路港の港湾施設には、築後40年から50年経つものも多く、更新の時期を迎えつつあると考えるが、老朽化と更新の時期という点で現在どのような状態にあるか聞きたい。

答 港湾施設の維持管理は極めて重要な課題と受け止めている。現在、日常点検や維持管理計画に係る詳細点検などで老朽化の状況把握に努めており、更新が必要な場合は国とも十分に協議を行い、緊急度により優先順位を決め、さらに補修費用の平準化を行う中で検討していきたいと考えている。

市民連 松尾 和仁議員 7

問 2020年に開催される東京オリンピックに関連した選手団の事前合宿誘致のためには、道や上部競技団体との連携が必要と考えるが、今後の具体的な動きはどのようなものか。

答 本市におけるオリンピック関連合宿の実現に向けて、今後、各競技団体と意見交換の機会を持ち、どのようなステップで取り組みを進めることが有効か、協議・検討していきたい。また道では合宿地の関係情報を集約する予定と聞いており、積極的な情報提供により誘致PRに努めていきたい。

自新 戸田 悟議員 8

問 「阿寒丹頂の里」は、阿寒本町の体験型観光を軸として日中滞在拠点化づくりに地域一体となって取り組んできたが、27年度に予定の阿寒インターチェンジ開通に合わせ、26年度に取り組み振興策の意義は大きく、確実に実施しなければ将来に禍根を残すことになるため、明確に予算を確保して実施すべきと考えるかどうか。

答 釧路地区と阿寒湖温泉地区の結節点である「丹頂の里」が行っている日中滞在の強化など、必要な予算の確保に努め、しっかりと連携・支援を図っていく。

共産党 石川 明美議員 9

問 台風18号による春採地区の崩壊危険区域に指定している崩壊危険区域に指定している釧路総合振興局に対し恒久対策工事実施の要望書を提出し、26年度に事業実施していただくよう協議を行っている。今後道に對する各種要望を通じて、対策工事の着手に向けて努力していく。

答 市では、当該地を急傾斜地崩壊危険区域に指定している釧路総合振興局に対し恒久対策工事実施の要望書を提出し、26年度に事業実施していただくよう協議を行っている。今後道に對する各種要望を通じて、対策工事の着手に向けて努力していく。

自民 山口 光信議員 10

問 市の自立支援事業が市民に認知されてきている一方で、一部の受給者の行動により受給者全体が否定的な見方をされることに関し、地域一丸となって見守る体制づくりを進めるべきではないか。

答 ケースワーク業務等を通じて受給者の自立に向けた指導助言と支援を行うとともに、関係機関との連携により不正受給等には厳正に対処している。今後とも自立支援事業を積極的に展開し、必要な方には確実に生活保護を実施するという基本的な考え方を維持しながら、適正化に努めていきたい。

市民連 大島 毅議員 11

問 大分市での健康づくりの取り組みにおいて、特定健診受診率が、20年度は全国平均を下回っていたが、23年度は全国平均を上回るまで上昇し、市民個々の健康づくりへの意識の高揚が図られていると感じるが、この取り組みについて、どのように評価するのか。

答 大分市の取り組みは、市民が地域における健康づくりの担い手として活動され、特に特定健診受診率が向上しているという成果も見られることから、その取り組み内容について、研究していきたい。

委員会審査 3常任委・1特別委

12月定例会では、3常任委員会と石炭対策特別委員会の審査が行われました。その中から、主な審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会 菅野 猛委員長

「釧路市民文化会館のピアノは、移動による負荷や地下練習室の環境、調律の不具合などにより、使用に支障を来す状況となっている。特にコンサート用のピアノは、まちの文化水準を示すものでもあり、同館の他の設備も含め計画的な更新を行ってほしいかどうか。」との質問がありました。

教育長は、「同館のピアノについては適切なメンテナンスを行い、今後とも長く使用できるようにしていきたい。その他の設備についても、緊急度、優先度を見極めながら対応していきたい。」と答えました。



経済建設常任委員会 畑中 優周委員長

「火災のあった釧路港西港区の穀物荷役機械の更新は、民間の2社が共同で行うとのことであるが、どのような能力の機械を設置するのか、また、こうした手法は緊急避難的な措置なのか、それとも今後もありうる手法なのか。」との質問がありました。

理事者は、「機械に接続するベルトコンベヤの能力などの関係から、焼損した機械と同程度の能力になると考えている。また今回は、火災事故という点もあり、できるだけ早い復旧を優先し民間設置という判断をしたが、今後の更新についても民間設置となる可能性はある。」と答えました。

民生福祉常任委員会 秋田 慎一委員長

「双葉保育園の移管先事業者が決定されたが、園舎建設予定地に接する交差点は、付近にスーパーマーケットなどがあり交通量が多く、また信号機もないため、交通安全の面で非常に危惧される。園児が安心して通える保育園にするため、関係機関と連携しながら、交通安全対策について取り組んでほしいがどうか。」との質問がありました。

理事者は、「園舎の建設に当たっては、送迎時における園児の安全確保を第一に考えて進めていくこととし、関係機関と連携を図りながら、予定地付近の交通量等の状況を把握した上で移管先事業者と協議し、建設位置等を決めていきたい。」と答えました。

石炭対策特別委員会 土岐 政人委員長

「産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業に関し、27年度以降も安定的に継続されるよう、ベトナムとの経済交流を通じた戦略的な取り組みが必要ではないか。」との質問がありました。

理事者は、「ベトナムとの経済交流としては、根室市や当市においても水産物を中心に取り組みを行っているが、今後、こうした各地域での経済交流が進み、総合的に日本とベトナムとの友好関係が深まることで、研修事業の継続につながるものと期待している。」と答えました。



本会議 質疑・一般質問

12月4日(水)～

12月6日(金)

問 地域の国際競争力をつけるためには、地域の特色とカジノを融合したビジネスモデルが必要ということだが、観光客誘致にはカジノを想定しない戦略もあると思うが、市長の見解を聞きたい。

答 観光客の目的はさまざまであり、阿寒湖畔にはマリモやアイヌ文化、豊かな自然がある中で、滞在日数を増やすことを考え事業を行っている。カジノが観光客増になるという単純な構図ではなく、阿寒湖畔の中でどういう形が付加価値を持つのかという観点で取り組んでいくことを理解いただきたい。



共産党 梅津 則行議員 12

問 災害発生時における音別地域の避難に関し、主要な陸路である国道38号が通行止めとなった場合、救急搬送や物資輸送に支障を来すため、地域の連合町内会などから、北海道横断自動車道音別インターチェンジの整備について要望書が提出されているが、これに対する取り組みについて聞きたい。

答 同国道は、過去の地震の際にも長時間通行止めとなっており、ことから、通行止め時の対応の必要性は認識しており、国道とも北海道横断自動車道の活用に関し相談しているところである。



自民党 菅野 猛議員 13

問 未婚のひとり親家庭に対し、公営住宅や保育料などにおける「寡婦(夫)控除のみなし適用」が全国の自治体で広がっているが、市としても実施すべきではないか。

答 「寡婦(夫)控除のみなし適用」については、申請の際に個人の人プライバシーに踏み込むため、慎重な対応が求められる。また、実施した場合の影響等についても調査する必要がある。既に実施している他都市の対応事例の情報収集とその検証を早急に行った上で、市としてどのようなことができるか、判断していきたい。



市民連 渡辺 慶藏議員 14

用語解説

- ※1 南海トラフ巨大地震対策特別措置法
太平洋沖、静岡県駿河湾から九州東方沖まで続く海底の溝(南海トラフ)での発生が警戒される巨大地震への地方自治体の対策に対し、国が財政支援するための特別措置法。津波対策が必要な地域を国が指定し、住宅とともに高台移転する学校や病院など公共施設の用地取得費や津波避難施設の整備費を補助し、防災・減災の取り組みを促す。
- ※2 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震
房総半島の東方沖から択捉島の東方沖にかけての日本海溝や千島海溝の周辺で発生する地震。
- ※3 みなし寡婦(夫)控除
配偶者と死別・離婚などをした人が受けられる住民税、所得税の「寡婦(夫)控除」を、未婚のひとり親家庭も同様に受けたとみなし各制度の適用を行うこと。

意見交換会

25年度からの新たな取り組みとして、常任委員会ごとに担当するテーマに沿って、関係団体などの方と直接お話しする「意見交換会」を開催することとしました。その概要について、お知らせします。
※なお、経済建設常任委員会は、6月定例会中に阿寒湖アイヌシアターイコロの運営委員会と意見交換を行っています。

民生福祉常任委員会 大島 毅副委員長

12月12日、釧路市連合町内会の皆さんと意見交換会を行い、忌憚のないご意見をいただきながら活発な意見交換が展開され、大変有意義な時間となりました。

はじめに、同会の実態や取り組み状況についてお話を聞き、核家族・高齢化世帯の増加や若年層の加入率が低いなどの意見が出されました。また、町内会の加入や退会を、メリット・デメリットで判断される場合もあるとのことですが、居住する町での安全・安心確保、災害を含む緊急時における役割も町内会が担っています。今回の意見交換を踏まえ、さらに議会論議を前進させる必要があるものと感じました。

総務文教常任委員会 金安 潤子副委員長

9月19日、市立釧路図書館長との意見交換会を開催しました。今後、新図書館を整備するにあたって、どのような形が望ましいのかということを中心に、忌憚のない意見が交わされ、全国の先進的な図書館の事例を基に、建築規模や館内設備などのハード面、運営方法や市民との関わり合いなどのソフト面のあり方について活発な意見交換が行われました。

また同館では貴重な郷土資料を数多く所蔵していることから、新図書館の建設地に関しては、大規模な津波への対策も含めて、広く市民の声を聞きながら、慎重な議論をしていくことが必要だと改めて認識いたしました。

議 会 報 告 会

25年度議会報告会を開催して

10月23日から25日の日程で、市内5カ所を会場に全議員28名が参加し、25年度議会報告会を開催いたしました。

23年に制定した『釧路市議会基本条例』には、市民の皆さんへの積極的な情報発信や、議員と市民が情報や意見を交換する場を多様に設けるよう努めることなどを定めており、議会報告会は、その趣旨に沿って開催するものです。

当日は、6月及び9月定例会の主な審議事項として「防災・減災」「まちづくり・産業振興」「観光」「教育・子育て」「市民生活」などについて報告し、参加された皆さんからは、「政治・民間看板の不法設置の指摘」「津波対策」「カジノ誘致構想の是非」「除雪のあり方」「北方領土問題」「国際バルク戦略港湾の状況」など、多くの質問や意見が寄せられました。質問にはそれぞれ担当の議員がお答えしましたが、市民の皆さんの多様な考え方を受け止める貴重な機会となりました。

また、参加者アンケートでは、「内容については分かりやすかった」「これからも継続すべき」との意見をいただきました。

開催に当たったの周知方法について改善の余地が必要と感じましたが、これからも議会報告会の継続に努め、広く市民の皆さんの声を議会の中で代弁していき、議会の活性化に努力いたしますので、よろしくお願いいたします。



(文責・黒木満議長)

釧路公立大学で出前・議会報告会を開催

10月28日、釧路公立大学において出前・議会報告会を開催いたしました。これは、同大学関係者の皆様のご協力により下山朗准教授の講義の一環として実施したもので、当日は271名の学生が参加し、活発な意見交換が行われました。

市議会からは黒木満議長をはじめ、月田光明副議長、高橋一彦議会運営委員長、また各委員会の委員長が参加し、6月定例会と9月定例会での一般質問や委員会審査の様子を報告しました。

報告の後の意見交換では、議員在職年数や議員になったきっかけについて、また議会を開催していない日はどのような活動をしているのかなど、学生にとって関心の高い質問が寄せられたほか、「カジノ誘致」「市民球場におけるプロ野球の試合開催」「釧路駅前の整備」「学力問題」「生活保護受給率」などについて、予定された時間をオーバーするほどの活発な意見交換となりました。報告会終了後には「普段接することの少ない議員の仕事の様子がよく分かった」「議会での審議の様子がよく分かった」などの感想が寄せられました。

今後もこのような機会を通じて、市民や学生の皆さんに議会が身近に感じられるよう、さらに努力を深めていきたいと思っております。



(文責・松橋尚文議会広報特別委員長)

平成25年 第6回 12月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(同意・承認)となったもの(26件)

市 長 提 出 議 案		議 案		
予 算	平成25年度一般会計補正予算(議案第131号)	そ の 他	市道路線の認定の件	
	平成25年度介護保険特別会計補正予算		釧路フィッシャーマンズワーフ及び釧路市東港区北地区緑地の指定管理者の指定の件	
	平成25年度動物園事業特別会計補正予算		人 事	釧路市功労者表彰について同意を求める件
	平成25年度病院事業会計補正予算			人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
	平成25年度港湾整備事業会計補正予算			平成25年度一般会計補正予算(報告第9号)
平成25年度一般会計補正予算(議案第146号)	専決処分	平成25年度一般会計補正予算(報告第10号)		
条例		平成25年度一般会計補正予算(報告第11号)		
その 他				
児童館条例の一部を改正する条例				
土地処分の件(星が浦南5丁目1番1)				
土地処分の件(星が浦南5丁目1番32)				

議 員 提 出 議 案	
意 見 書	過疎対策の積極的推進を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか5大臣)
	積雪寒冷地域対策の推進を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか6大臣)
	「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣)
	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか7大臣)
	「原子力事故子ども・被災者支援法」に基づく施策の早期具体化等を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか6大臣)
	利用者本位の持続可能な介護保険制度の確立を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)
	平成26年度地方財政の確立を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣、内閣官房長官)
	国会決議を順守したTPP交渉に関する意見書(提出先:内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策))
後期高齢者医療の保険料軽減を求める意見書(提出先:内閣総理大臣、厚生労働大臣)	
決 議	中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議

◎ 賛否が分かれたもの(7件)

市 長 提 出 議 案		議 案							審議結果	
件 名	会派名[()内は議員数]*	自民ク(6)	市民連(6)	公 明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)		
条 例	職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	可 決
	保育に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	可 決
	病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	可 決
	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	可 決
議 員 提 出 議 案										
件 名	会派名[()内は議員数]*	自民ク(6)	市民連(6)	公 明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果	
意 見 書	寡婦(夫)控除をすべてのひとり親家庭に適用することを求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)	○	○	○	○	○	○	×	○	可 決
	日本型直接支払制度の創設及び経営所得安定対策等の見直しに関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)	○	○	○	○	○	○	×	○	可 決
	特定秘密保護法の廃止を求める意見書	×	○	×	○	×	×	×	×	否 決

◎ 請願・陳情(3件)

(1) 取下げ承認となったもの		提出年月日	審議結果
陳 情	「特定秘密の保護に関する法律」を制定しないことを求める意見書の件	平成25年12月6日	取下げ承認
(2) 継続審査となったもの		提出年月日	付託委員会
陳 情	公契約法の制定を求める意見書の件	平成24年3月7日	総務文教常任委員会
	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再利用を促進するための法律の制定を求める意見書	平成25年12月6日	民生福祉常任委員会

* 自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。